

コード	205010103
記入日	H26.5.30

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	青崎 真樹

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道小浜三本松線改良事業
----------	--------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 30 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	2
基本事業コード	20501	基本事業名称	防災対策の充実	目コード	3
事務事業コード	2050101	事務事業名称	石油立地交付金事業費	細目コード	913
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法、道路構造令 新上五島町町道の構造の技術的基準を定める条例 等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者	(対象2)	(対象指標1) 小浜・三本松地区住民132人 (H25.4.1現在)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・改良延長 L=2,431.0m ・幅員 W=4.00m ・全体事業費 C=245,000千円	(平成25年度) ・改良延長 L=440(700)m ・幅員 W=4.00m ・事業費 C=40,000千円 ・法覆工 A=367.0㎡ ・擁壁工 L= 37.0m ・排水工 L=597.0m ・路側工 L=126.0m ・舗装工 A=1,821㎡ ・防護柵設置工 L=28.0m ・測量設計 L=700m	① 工事進捗率	16.3%	16.3%	実施工事÷ 全体計画工事	平成30年度
		② 工事進捗率	16.3%	89.0%		平成25年度
		(達成率分析)	ほぼ計画どおり進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・本路線は、石油備蓄基地の有事に際し、地区住民の避難、緊急車輛の通行及び望海活動に対応するとともに、本路線を改良することにより、交通の安全及び地域の活性化を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 交通の安全確保	-	-	-	平成31年度以降
		(達成率分析)	本路線を改良することにより、有事の際の地区住民の避難、緊急車輛の通行及び交通の安全確保が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① %	100	16.3		18.3	16.3	16.3	16.3	16.3	18.5
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	249,200	40,700		45,700	40,700	40,700	40,700	40,700	40,700
直接事業費 A	千円	245,000	40,000		45,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
人件費 B	千円	4,200	700		700	700	700	700	700	700
内 従事職員数	人	0.6	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円									
の 県補助金	千円	228,000	38,000		37,800	38,000	38,000	38,000	38,000	38,200
財 起債	千円									
源 内 その他	千円									
内 一般財源	千円	21,200	2,700		7,900	2,700	2,700	2,700	2,700	2,500

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	ほぼ計画どおり事業は推進されているので、特別向上させる必要はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。また、設計の電算化等により省力化を図っており、現在の人員を削減することはできない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	住民の安全で安心な生活環境の確保と整備、利便性の向上させるため計画どおり事業を進めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。